

京都産業大学文化学部講演会

麺の東西を考える

—多様なテキストから見る比較文化—



日時：3月22日（木） 11：30—13：00

場所：5407 教室

開会の言葉：若松正志（京都産業大学文化学部学部長）

報告：藤倉恵子（京都産業大学文化学部国際文化学科）

「童話に読む「食」—精神分析と文化史の視点から—」

カロリーナ・カパツソ（京都市立芸術大学音楽学部）

「イタリア・ルネッサンスの料理書に見るパスタ」

笹部昌利（京都産業大学文化学部京都文化学科）

「ラーメンと日本近代—アジア受容の観点から—」

司会：倉科岳志（京都産業大学文化学部国際文化学科）

※予約不要・参加無料・

文化学部生以外の聴講可

写真の説明（左から順に）：明治43年に開いた日本初のラーメン専門店「来々軒」とそこで職人が出したラーメン
フィレンツェ中央市場の生パスタ店 / パスタがかつて手で食された光景、